

## 令和5年度 品川区総合戦略推進委員会

### 議事概要

日時：令和6年2月8日（木）16:00～17:00

場所：品川区役所 本庁舎5階 第五委員会室

#### <議事次第>

#### 1. 開会

#### 2. 委員紹介

#### 3. 委員長挨拶

##### ■委員長

- ・事前に資料をいただいて目を通したが、区として活発に動いている分野もあれば停滞していると思われる分野もある。
- ・現状にしっかりと向き合いながら、今後の政策形成に役立てていただきたい。
- ・品川区の子育て環境が良いと捉えて転入される方も多くいる。区の良いところを伸ばせるように本委員会でも議論していきたい。

#### 4. 委員会運営について

- \*事務局より、資料3（品川区総合戦略推進委員会公開基準）について説明。

##### ■委員長

- ・本委員会の公開基準および傍聴に関する取扱要領について説明があった。この基準により会議を運営することに異議はないか。

##### ■委員

- ・異議なし

#### 5. 品川区総合戦略の取組状況について

- \*事務局より、資料4（品川区総合戦略の取組状況について）について説明。

##### ■委員長

- ・令和4年度はまだ新型コロナウイルス感染症の影響が大きかったと受け止めた。

- ・それでは、令和4年度の取り組みについて評価を行っていく。説明内容、配付資料について、質問、意見等があればご発言いただきたい。

#### ■委員

- ・令和4年度はまだコロナの真ただ中なので評価が難しいところである。
- ・今はコロナの影響が少なくなってきた、多くの外国人が訪日されている。その辺りを施策にどう反映していくのか。例えば「地域における国際理解の促進」「多様な媒体を活用した情報発信とシティプロモーションの推進」の対応が今後変わってくるのではないかと。外国人に交流人口として訪問いただくと経済効果があり、企業の活性化等につながる。
- ・国ではFAXの廃止等が話題となったが、品川区におけるDXの取り組みはどうか。
- ・コロナ以降、不登校児が増えていると聞く。23区における不登校児の割合を調べたところ、品川区は真ん中位の位置であった。区として対応を検討したほうが良いのではないかと。

#### ■事務局

- ・指摘いただいたとおり、コロナ前後で区を取り巻く状況は大きく変わってきている。
- ・国際化への対応は、シティプロモーションとも関連するが、区のブランディングについて再検討する動きがあり、外国人誘致の手法についても事業の見直し中で検討することを考えている。
- ・DXについては、「ICTを活用した学習の推進」「中小企業のDX推進」などを総合戦略における施策として掲げている。また、FAXのお話をいただいたが、区では電子申請などを推進し、区民の利便性向上に取り組んでいるところである。
- ・不登校児への対応としては、不登校児が増えている状況を踏まえて、来年度、区内4か所目となる適応指導教室「マイスクール」を新設する。

#### ■委員

- ・実績値について、令和4年度の目標値を下回るものが一部あるが、少なくとも令和3年度より世の中の状況が改善されていることが見て取れる。

- ・「中小企業の事業承継支援」は全国的な課題であり、目標には至らなかったものの1年間で25企業が事業承継したことは良いことである。
- ・「中小企業のDX推進」について、高齢の社員が多い中小企業等では、DX推進が難しいので、行政が支援することは重要。

#### ■委員長

- ・コロナの影響はまだあるが、コロナから抜け出し始めている時期なので、旅行・交通関係・商業関係は少しずつ良くなっている、あるいは今後良くなっていくと受け止められる実績値になっている。
- ・一方で、不可逆的に難しくなっている指標もある。例えば不登校の問題は、ある意味でパンドラの箱のようなもので、学校に行かなかったときにどうなるか、あるいは学校に行かないことができるということが分かると、区の対応はこれまでとは違ったアプローチが必要となる。
- ・また、子育て関係については、コロナで受け入れ人数等を制限した上での実績値だが、コロナが明けたら本当に回復・リバウンドするのか疑問もある。

#### ■委員

- ・総合戦略の施策の多くはコロナ前から取り組んでいたものであり、当然コロナは想定していない。
- ・不登校の関係では特に女性の不登校児が増えているようだ。コロナは男性よりも女性の方にネガティブなインパクトを与えているという話もあるが、こうした影響が今後どういう形で数値に出てくのか注意が必要。
- ・近年、グローバル企業を中心にNet Promoter Score（ネット・プロモーター・スコア）という顧客ロイヤルティを測る指標が流行しており、今後は行政にも展開される可能性があるため、区も導入について検討して良いかもしれない。

#### ■事務局

- ・今年度、事務事業評価を実施したが、指標の設定・評価の仕組みについては改善の余地があると感じているので、さまざま検討していきたい。

#### ■委員

- ・「英語教育の推進」に関して、区内在住外国人と子どもを交流させる取り組みができることと子どもの教育と国際化への対応が一度にできて良いのではないかと。

#### ■委員長

- ・「町会・自治会への活動支援」について、会合・催しへの参加割合がコロナの影響で低下している。啓発活動だけでなく、今までの町会・自治会活動にはない魅力的な活動があれば、積極的に周知すると良い。

#### ■委員

- ・品川区は地域の活動を区民に積極的に発信していると感じる。地域に目がいかない人をどうやって振り向かせるかが重要。
- ・一方で、区外や海外への発信を強化した方が良い。品川区には魅力がたくさんあるので、移住・観光を見据えて積極的にPRすると良い。

#### ■委員

- ・品川区のホームページは多言語対応が充実している。どこの言語の方がこういったページを閲覧しているかなどを分析すると面白い。

#### ■委員長

- ・言語ごとのホームページのアクセス数や、SNSのインプレッション数などを指標とすることも考えられるかもしれない。

#### ■事務局

- ・より戦略的な広報を目指し、ホームページの分析についても進める予定である。
- ・指標については事務事業評価等を通じて設定の難しさを痛感したが、引き続きさまざま検討していきたい。

#### ■委員長

- ・指標の設定については本委員会でも毎回課題として挙がっている。どうしても手持ちのデータからしか指標を作れないという制約がある。アンケートを実施するならば、設計段階から指標を想定していないと活用できなくなる。

#### ■事務局

- ・例えば講座の開催数・参加者数を指標としている事業についても、アンケートによる参加者の満足度を指標とすれば効果の表し方・見え方が変わってくる。指標の設定については重ねて研究していきたい。

## 6. 今後のスケジュール等について

### ■事務局

- ・ 本日の会議資料については、ホームページに掲載する。
- ・ 議事概要案を作成の上、後日、各委員の皆様にご確認いただいた上で、ホームページに掲載する。

## 7. 閉会

### ■委員長

- ・ 以上をもって本日の委員会を終了する。

—以 上—